

近畿地方情報通信関係団体連携促進調査業務報告会 ～調査報告書（概要版）～

1 事業の概要

1.1 委託業務名：

近畿地方情報通信関係団体連携促進調査業務

1.2 業務実施目的：

近畿地域におけるICTの普及発展と近畿情報通信協議会（以下KICCという）会員相互間の連携と親睦を図りつつ、調査研究活動を実施、平成27年度以降のKICC活動方針の検討を行う。

1.3 実施内容：

「ICT地域活性化」、「ICT産業活性化」、「ICT関連人材育成」に係る取組みを行う団体に取材を行い、各団体の意見を集約・整理することで報告書をまとめる。

2 近畿地方情報通信関係団体連携促進会議の実施

調査対象となった団体の相互現状認識等の理解を深め、近畿地方の地域活性、産業活性の為にICT利活用やICT人材育成など各種活動の連携について関係性を作る為に開催。第一回開催では、各団体の活動内容や課題、方向性などについて発表し合い交流を促進し、第二回開催では調査事業の中間報告を行い、各団体からの意見収集を行った。

2.1 第一回近畿地方情報通信関係団体連携促進会議

◆日時：平成26年10月29日（水） 14:30～17:40

◆開催場所：株式会社パソナ大阪 8階セミナールーム<大阪市中央区淡路町4-2-15>

2.2 第二回近畿地方情報通信関係団体連携促進会議

◆日時：2015年2月26日（木） 14:00～16:30

◆開催場所：梅田スカイビルタワーウェスト36F スペース36R<大阪市北区大淀中1-1-88>

3 神戸ITフェスティバルへの出展

兵庫ニューメディア推進協議会と地域ICT推進協議会（COPLI）が共催した『神戸ITフェスティバル2014』にKICCとして後援、会場内にブースを設置し、各近畿地方情報通信関係団体の概要資料や告知情報などを展示配布。各団体の連携に向けたKICCの取組みを紹介した。

- ◆イベント名：神戸ITフェスティバル2014『手を伸ばせばつながる未来』
- ◆開催日時：平成26年11月28日（金）～29日（土）
- ◆会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO<兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4>

4 ヒアリング調査

4.1 調査概要（趣旨、方法、対象団体など）

4.1.1 趣旨

ICT利活用や地域振興に取り組む各団体の現状を明らかにし、ICT関係団体間の府県域を超えた広域活動等を実現するため、KICCが果たすべき貢献策を検討する。

4.1.2 方法

調査対象の7団体にヒアリング調査を実施。

『ICT地域活性化』『ICT産業活性化』『ICT関連人材育成』を軸にヒアリングし、『注力事業』『現状の課題』『今後の方向性（実施予定など）』『近畿圏における連携』の項目に整理した。

4.1.3 調査対象団体

- ・滋賀県地域情報化推進会議
- ・ITコンソーシアム京都
- ・一般財団法人関西情報センター（KIIIS）
- ・一般社団法人ヒューリットMF（HRITMF）
- ・兵庫ニューメディア推進協議会
- ・地域ICT推進協議会（COPLI）
- ・和歌山県情報化推進協議会（WIDA）

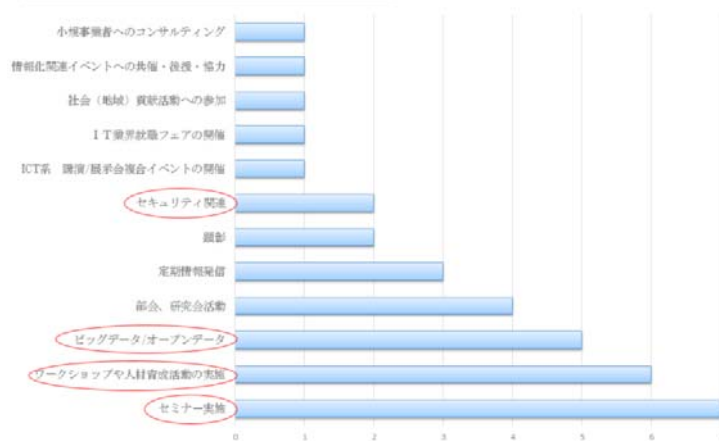
4.2 ヒアリング内容の分析

対象団体ヒアリング内容の要約、要約コメント内のキーワード抽出と集計、グラフ化を実施。

4.2.1 「注力事業」要約とグラフ化

- ・セミナー、勉強会、フォーラムなどの開催
- ・オープンデータ、セキュリティ
- ・委員会、部会、研究会、サロンなど個別ワーキングなどの実施
- ・メルマガやレポート情報などの発信
- ・フォーラムやシンポジウムという形での複合型イベントの開催など

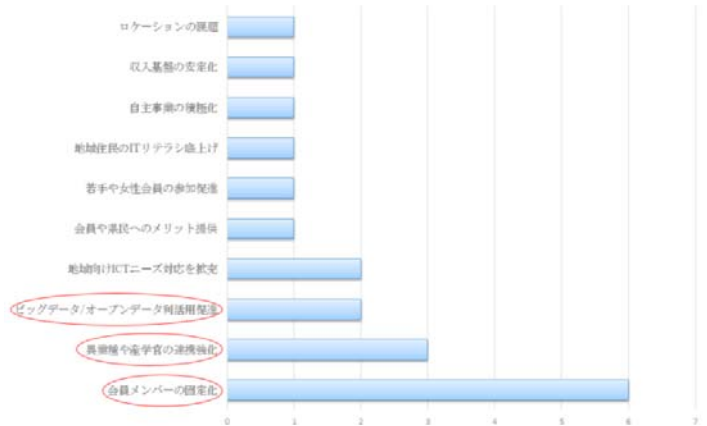
各団体意見の数値化（注力事業）



4.2.2 【現状の課題】要約

- ・ 会員の減少や固定化（ベンチャーや Web、IT 系企業の少なさ）
- ・ 各団体事務局のマンパワー不足など

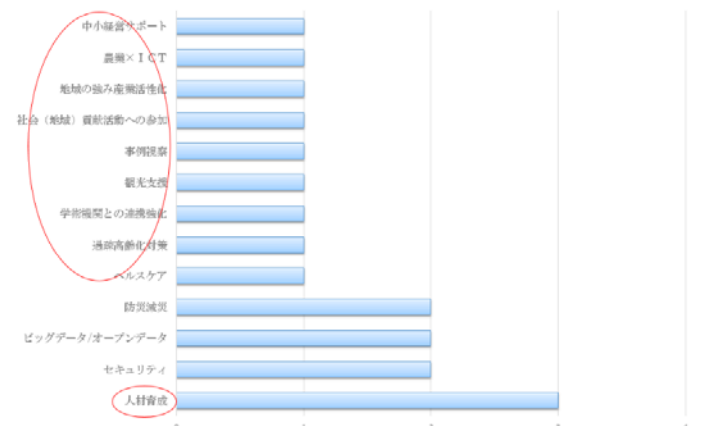
各団体意見の数値化（現状の課題）



4.2.3 【今後の方向性】要約

- ・ 産業活性化に向けた取組み
- ・ 会員企業にメリットのある事業やサービスの展開
- ・ 各地域の事例共有
- ・ セミナー共催など

各団体意見の数値化（今後の方向性）



4.2.4 【近畿圏における連携】要約

- ・ 各地域でのセミナー企画、講師アサインなど事務局運営における情報共有
- ・ 各地で取り組んでいる事業、事例などの共有
- ・ 共有、連携機能（主幹）の設置
- ・ 各団体会員同士の相互理解を深める交流の設定など

各団体意見の数値化（近畿圏における連携）



5 総括

明らかになった課題の解決のために KICC が貢献できる事を考えた時に、『個別の府県にとどまらない広域な活動ができる』という KICC の特徴を生かした課題解決に取り組むべきという結果となった。

一方で、各調査対象団体において、講演会やセミナー等のイベント、その他事業の実施にあたり、単体での活動では予算や人員等の課題が発生するという課題に対しては、当該団体単独の自助努力だけではなく、他団体との連携が有効であり、それによってイベント企画や講師招聘、参加者募集等の面での有利な状況が期待できる。

6 近畿情報通信協議会の果たすべき貢献策

「近畿地方情報通信関係団体連携促進会議」に招聘した近畿圏の ICT 関係団体の相互理解が進んだ、という成果を活用し、府県域を超えた ICT 関係団体同士の連携による広域の取組を進めることで、個々の団体活動も活性化させる。そして次のような取組の推進検討と、関係団体の参加促進に努めることが重要と考える。

6.1 近畿圏の ICT 関係団体等と K I C C との関係強化

「近畿地方情報通信関係団体連携促進会議」に招聘した団体を中心とした ICT 関係団体等との情報交換をより活発にするため、それらの団体に KICC 関係者が積極的に訪問し、情報収集、意見交換等することで、各団体と KICC との関係を強化する。

KICC を中心軸として、近畿圏の ICT 関係団体が相互に関係を深める環境の醸成ができる。

6.2 近畿圏の ICT 関係団体等が交流できる場の設定

今後の ICT 関係団体間の交流を促進するため、ICT 関係団体や学術研究機関などの関係者も参加できる交流の場の設定を検討する。

関係者同士が顔の見える関係を築き、団体相互の連携の基礎を確立することが出来る。

6.3 イベント開催に対する支援の強化

他団体が開催する講演会やセミナー等の支援として後援や協賛等を行うことが有効と考える。

KICC として他団体開催イベントに正式に関与し、ホームページやメールマガジンでの周知や関係者への紹介を通じて当該イベントの盛況に寄与しつつ、団体間の関係強化も図る。

また、一定の要件を満たす講演会等を対象とした支援金（協賛）制度の利用を促進し、講演会等の内容充実への助力も可能。

このほか、近畿圏の ICT 関係団体が講演会等の講師を招聘する場合に、希望に応じて、KICC と協力関係にある有識者等を紹介する等、当該団体によるイベント開催に対して KICC として協力するよう努めるとともに、KICC が主催するイベントについても関係団体からの協力を得ることで、団体相互の連携促進と、近畿圏における情報通信の普及啓発活動の活性化を図る。

以上